

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	事業地の障害児 340 人に車椅子を供与し、彼らは自由に移動できることによって、治療や教育を受けやすく、日常生活が改善されて、将来自立するために素地を育成助長する事が出来た。
(2) 事業内容	<p>申請書の事業内容に従って、日本で車椅子 340 台の収集調達や整備事業を計画通りに進めることができた。</p> <p>フート省とバックニン省への引渡式については、赤十字本部の都合により延期せざるを得ず、事業期間後に実施することになった。</p> <p>2016 年 12 月 22 日にタアンホア市でタンホア省とゲーアン省で 170 台、2017 年 9 月 26 日にはベトトリ市でフート省とバックニン省で 170 台を地区人民委員会代表、赤十字本部ならびに地区代表、それに障害児及び保護者代表など約 90 名を招いて引渡式を行った。</p> <p>引渡式では、車椅子が日本でどのような経緯でどのような様な人たちの支援と協力でベトナムの子どもたちに届いたかスライドで説明し、「車椅子を家族の一員として大切にそして有効に使ってほしいことを障害児の家族に伝えた。</p> <p>◎式が終了後、障害児の保護者や障害者支援団体の職員を対象に車椅子の使い方や保全や修理について、ベトナム語の翻訳した写真入りの修理マニュアルを配布して説明し指導した。</p> <p>◎修理に必要な部品については、当会から無償で赤十字本部を通じて供与するので、迅速な対応をするよう要望した。</p> <p>◎車椅子の受益者管理台帳の作成と管理を徹底するよう指示した。</p> <p>その後、各地方の車椅子を貸与した障害児の家庭を訪問し、障害児の生活と車椅子活用の実態を把握した。</p>
(3) 達成された成果	<p>現地での障害児の訪問やそれぞれの赤十字支部に聞き取り調査を行った結果、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家族の介護の負担が軽減したこと</li> <li>2. 外で紫外線を浴び、新鮮な空気を吸えるように肉体的精神的健康が助長されて子どもはとても喜んでいる。</li> <li>3. 近所の人たちと接する機会が増たことで子どもや家族が明るくなり、社会参加ができるようになるなど、家族の生活が大きく変化したなどプロジェクトの成果を見聞した。</li> </ol>

	<p>ベトナム 4 省の障害児用車椅子を緊急に必要とする 340 名の障害児のニーズに応えることができ、障害児の健康と自立の支援をすることが出来た。</p> <p>本案件による直接の裨益者数は車椅子を供与した 340 名の利用者、間接的な裨益者数は障害児の介助者（主にその家族 1 家族当たり平均 5 名として）約 1700 名の負担が軽減され、さらに訪問物理療法士など治療にあたる職員 20 名などである。</p> <p>2016 年 12 月に引き渡しを行ったタンホア省とゲーアン省の赤十字支部から配布後 10 カ月の経過がハノイの赤十字本部に報告された。主な報告は下記の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 共通の効果として、家族の介護の負担が軽減されたことが報告された。特に、仕事のために家族の外出が多い家庭では、兄弟姉妹が負担なく子どもの世話をすることができ、近所に外出も容易になったと報告された。</li> <li>2) 家族だけでなく、近所の住民に子どもの世話を頼みやすくなった、との声も多かった。 これは子どもの外出の機会がふえ、近隣の人達との交流を増やす結果ともなっている。</li> <li>3) 一方、車椅子を受け取った子どもは地域の注目を浴びることになり、地域赤十字支部は、近隣に住む同様の症状に悩む子供たちの家族や地域の世話役から車椅子の配布を求める声を聞かされる、との報告と将来の車椅子への要望をベトナム赤十字に報告している。</li> </ol> <p>これは、当会が送った車椅子が有効に使われており、家族だけでなく、その地域の住人により車椅子の有効性が認められていることを証明していると理解しております。</p>
(4) 持続発展性	<p>障害児の保護者とベトナム赤十字と貸与契約を取り交わして、赤十字が責任をもって維持管理を行うことを確認した。</p> <p>車椅子が破損や故障したときは、修理マニュアルを参考に保護者自身が修理を行い、困難な修理に関しては地区の赤十字に相談する。修理に必要な部品は当会が無償で赤十字に支給することによって持続的な活用をする。</p>